

東愛知新聞

発行所:東愛知新聞社 〒441-8016 豊橋市新栄町宇馬62 電話0532(32)3111
ホームページ:https://www.higashiaichi.co.jp



4910856512038 00109

面1カ月2770円 1部120円(税込み)

東愛知新聞 20



遊んで福祉への理解深めて

田原若戸小
4～6年生

「タッチチャレ」を体験

南山大生が考案

視覚障害の有無にかかわらず遊べるカードゲーム「タッチチャレ」の体験教室が19日、田原市立若戸小学校であった。指で触ると判別できる四つのマークと4種類の触感を組み合わせたトランプに似たカード。指先の感覚だけでババ抜きなどのゲームを遊べる。企画開発したのは南山大学経営学部で川北真紀子教授ゼミ生の市川雄大さんら3人。昨年開催された大学ゼミ対抗で企画の商品化を目指す「スチューデント・イノベーション・カレッジ2022」タッチチャレで楽しく遊ぶ児童。若戸小学校で。

（Sカレ）で「社会課題を解決する印刷商品」のテーマに挑戦。テーマ1位、プラン優勝、学生賞の3冠に輝いた。今年9～11月にクラウドファンディングで102万円を集めて商品化。現在リターンなどの発送が始まっている。年明け



PRする市川さん◎と柳田さんには公式ホームページで一般販売するという。若戸小4～6年生43人が、福祉の授業の一環としてタッチチャレを使い、視覚障害団体「さくらんぼ」のメンバーと遊んだ。

児童からは「思った以上に難しかった」「視力の大切さが分かった」などの声が出た。市川さんは「多くの人がタッチチャレを遊んで、目の不自由な人について考えてもらえれば」と話した。

「してほしい」と話した。タッチチャレの開発初期からテストに参加しているさくらんぼ代表の柳田知可さんは「障害のあるなしに子どもたちが遊べるものになった」と喜んだ。

【岸伯輝】